

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 041	提案機関名 一般社団法人神奈川県園芸協会
要望問題名 スイートピー栽培における適正土壌水分の見える化	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 温暖化が進む中、スイートピーの苗定植時から秋季の地温低下が初期生育を旺盛にすることが知られている。そのため、遮熱性マルチによる地温低下を凶る生産者が散見される様になっているが、地温の低下に加え、乾燥防止により栽培ベンチ内の土壌水分推移が穏やかになることも旺盛な生育に寄与するものと考えている。ただし、スイートピーの栽培管理については、各々生産者の経験に頼るところが多く、メリットを感じながらも環境の変化や土壌の状況を観察しにくくなることから導入を躊躇する生産者も多い。 土壌水分、地温をはじめとした適正な栽培環境の数値化に関する研究を要望する。また、併せてマルチ栽培での適正な管理方法についての研究を要望する。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	平成14年に湘南地域農業改良普及センターが発行した「スイートピー点滴チューブ灌水～導入にあたっての留意点～」では、マルチをしたほ場の土壌水分の把握にpFメーターを活用し、水分管理は地域や園により土質や栽植方法、かん水方法が異なるため、各園で基準を設けて管理することを勧めています。生産者のpFメーターを利用した水分管理事例もありますので、普及指導部署で現地指導します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考	農業技術体系 花き編 第8巻 P129～134 スイートピー生産者事例		